

大分教育事務所訪問②-53 (計126)

大分市立東大分小学校に学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「自ら学ぶ意欲と考えを持ち、心豊かでたくましく生きる子どもの育成」を達成するために、学習部、生徒指導部、体育・特活部のそれぞれの3部会毎に重点目標を定め、現状、課題から具体的取組を決め進行管理を行っています。その際、各部会の月ごとの取組を年間経営計画に表すことで、取組の重なりを避けることや、カリキュラム・マネジメントへとつながるようにしています。

特に学力保障においては、単元末テスト結果を、教科、学年ごとに成果と課題をまとめ、低学年、中学年、高学年で子どもの実態に合わせた取り組みを行っています。また、「生徒指導3機能の意識した授業づくりチェック表」をもとに、全校をあげて共通した授業改善にも取り組むことで、継続的な実践へと繋がるような工夫をしています。

今後は、協議の際に確認をした「思考力」のような、学校で育成を目指す

(教科横断的な)資質・能力を定めることで、それぞれの組織がその資質・能力を意識をしながら取り組むことで共同的な実践となり、また、児童会の取組や保護者との「3WEEKS」の取組も、なんの力をつけるために行うかなど、資質・能力を意識させることで、学校の教育目標の達成に向けた協働的なものになることが期待されると思いました。



授業から学ぶ

1年生は、発表者の方を向いて聞いたり、発言内容に対してうなずく等共感する反応をしたりするなど、教室全体が優しい空間だと感じました。

5年生は、ニュース番組を作るという子どもが調べたくなる課題を設定しており、タブレットを使いながらも子ども達どうしが自然と学び合う姿が印象的でした。

また、本時のねらいも「追求対象、着眼点、到達点」が示されており、日常から意識され

ているのでしょう。本校は、子どものふりかえりを大切にしているので、今後は指導案における「振り返り」も教師が願う具体的なゴールの姿を「子どもを主語」にして表記することで、教師が考えた「振り返り」と子どもが実際に書いたものとの違いを分析をしたり、「めあて」との連動、評価規準との整合性について互見授業を通して協議したりすることで授業改善がより推進されると思いました。



NO.559 2021年12月 大分市立東大分小学校

未来の子

発表者の方を向くのは、ルールではなく、相手への優しさから。



NO.560 2021年12月 大分市立東大分小学校

光の子

考えてわからないことは、調べるか友達に聞くしかない。行動するからわかるようになる。



NO.558 2021年12月 大分市立東大分小学校

積極参加

自分の思いを表現する。だから、友達とつながる。考えが深くなる。



NO.561 2021年12月 大分市立東大分小学校

力の子

みんなの前で説明するのは勇気がいる。でも、みんなが聞いてくれるから発言できる。